



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 NOK株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7240 URL <https://www.nok.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 鶴 正雄  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部 部長 (氏名) 五十嵐 清史 TEL 03-5405-6372  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	750,502	5.7	22,912	49.0	40,285	51.7	31,602	137.2
2023年3月期	709,956	4.0	15,378	△50.9	26,557	△42.5	13,320	△48.4

(注) 包括利益 2024年3月期 92,732百万円 (131.3%) 2023年3月期 40,097百万円 (△32.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	188.34	—	5.7	4.4	3.1
2023年3月期	77.55	—	2.6	3.1	2.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 9,127百万円 2023年3月期 6,144百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	952,379	639,001	61.5	3,561.00
2023年3月期	862,750	577,346	60.6	3,082.93

(参考) 自己資本 2024年3月期 586,055百万円 2023年3月期 522,426百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	89,153	△29,722	△34,038	136,256
2023年3月期	46,030	△35,159	△21,441	104,117

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	25.00	—	50.00	75.00	12,979	96.7	2.5
2024年3月期	—	37.50	—	50.00	87.50	14,870	46.5	2.6
2025年3月期 (予想)	—	50.00	—	50.00	100.00		93.0	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	364,600	2.9	9,500	95.3	13,400	△18.2	8,000	△34.3	48.61
通期	708,300	△5.6	21,800	△4.9	30,000	△25.5	17,700	△44.0	107.55

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	173,138,537株	2023年3月期	173,138,537株
② 期末自己株式数	2024年3月期	8,562,394株	2023年3月期	3,680,752株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	167,792,003株	2023年3月期	171,759,567株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	230,826	5.5	3,216	—	26,532	194.4	39,679	338.3
2023年3月期	218,710	△3.3	△380	—	9,010	△66.9	9,052	△59.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	236.35	—
2023年3月期	52.68	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	461,165	285,887	62.0	1,736.20
2023年3月期	408,551	258,093	63.2	1,522.20

(参考) 自己資本 2024年3月期 285,887百万円 2023年3月期 258,093百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（1）経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態の概況 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績の概況

#### ①当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染に関する行動規制が緩和され、経済活動の正常化が進みました。しかしながら、米国・中国等の景気動向や原材料・エネルギー価格動向に加え、中東や東欧での地政学リスク等、先行き不透明な状況が続いております。

自動車業界は、半導体等の部品供給不足の解消が進み、グローバルで生産台数が増加しました。最大市場である中国では、電気自動車の需要が拡大しています。

電子機器業界は、スマートフォンの需要は第3四半期連結会計期間以降、やや持ち直しが見られますが、減少傾向が継続しています。また、ハードディスクドライブについても、市況の落ち込みの継続により需要が減少しました。

このような環境の中、当社グループにおける事業別の状況は次のとおりであります。

シール事業においては、自動車向けは、生産台数の増加に伴い、国内を中心に販売が増加しました。一般産業機械向けは、中国での不動産不況をはじめとした世界的な景気低迷が長期化し、建設機械向けを中心に販売が減少しました。

その結果、売上高は3,626億5百万円（前年同期比4.5%の増収）となりました。営業利益は、売上高の増加により、233億1千4百万円（前年同期比30.4%の増益）となりました。

電子部品事業においては、スマートフォン向けの販売が第3四半期連結会計期間以降、前期対比で増加したことと、車載バッテリー用途を中心に自動車向けの販売が増加したほか、為替影響による押し上げ効果がありました。

その結果、売上高は、3,598億3千4百万円（前年同期比7.6%の増収）となりました。営業損失は、売上高の増加により、10億2千3百万円（前年同期は37億1千2百万円の営業損失）となりました。

その他事業においては、事務機向け製品の需要の減少等により、販売が減少しました。

その結果、売上高は280億6千2百万円（前年同期比1.1%の減収）となりました。営業利益は6億2千6百万円（前年同期比47.8%の減益）となりました。

以上の結果、当社グループの経営成績は、売上高は7,505億2百万円（前年同期比5.7%の増収）、営業利益は229億1千2百万円（前年同期比49.0%の増益）、経常利益は402億8千5百万円（前年同期比51.7%の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は316億2百万円（前年同期比137.2%の増益）となりました。

## ②今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、米国・中国等の景気動向や原材料・エネルギー価格の動向、中東・東欧での地政学リスク等、先行き不透明な状況が続いております。これに加え、国内を中心に人件費・物流費の上昇も見込まれております。このような環境の中、各事業の見通しは以下の通りです。

シール事業では、自動車向けについては、日系自動車メーカーによる自動車生産は全体としては堅調に推移するものの、電気自動車の急速な普及が進む中国や、東南アジア市場においては引き続き日系自動車メーカーの減速が見込まれております。一般産業機械向けについては、世界的な景気低迷により、建設機械を中心とした需要減の傾向が継続しております。事業全体を通じて外部環境の不透明感が強い状況が続くと見込まれるため、電気自動車等の新領域向けの製品や、中国系自動車メーカーへの拡販、適正価格に向けた価格改定活動等、収益性拡大の取り組みを進めてまいります。また、安定した品質・安定した製品供給体制を維持するとともに、自動車の電動化等の中長期的な事業環境の変化に対応するべく、新事業・新商品の開拓にも取り組んでまいります。

電子部品事業では、自動車向けについては、電気自動車の普及が想定より減速しているものの、市場の成長は継続すると見込んでおります。スマートフォン向けは、買い替えサイクルの長期化により需要は横ばいとなる見込みです。ハードディスクドライブ向けについては、市場は縮小傾向にあるものの、データセンター向けの需要は徐々に回復傾向にあります。引き続き、自動車向けをはじめとした比較的需要変動の少ない事業領域を拡大すること等を通じて変動の影響を受けにくい体質作りを進めるとともに、世界各地で拡大していく電動車需要に対しては地産地消の考え方をもとにした最適地生産を推進してまいります。

その他事業では、特殊潤滑剤、事務機向け製品において、生産性の改善や品質・コスト面での競争力、および収益の向上に取り組んでまいります。

上記のとおり、各事業において収益拡大の取り組みを推進する一方で、今後ますます社会的な要請が高まることが見込まれる脱炭素をはじめとする環境課題への対応や、持続的な成長基盤構築に向けた人材への投資やDE&Iへの対応等、事業の持続可能性を確保するための投資も進めてまいります。

このような事業環境の中、次期の連結業績予想としましては、売上高は7,083億円（前年同期比5.6%の減収）、営業利益は218億円（前年同期比4.9%の減益）、経常利益は300億円（前年同期比25.5%の減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は177億円（前年同期比44.0%の減益）を見込んでおります。

上記業績予想には、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。今後の事業運営や為替の変動等により、実際の業績が予測値と異なる可能性があります。

## (2) 財政状態の概況

## ① 資産、負債及び純資産の概況

当連結会計年度末の資産合計は、9,523億7千9百万円となり、前連結会計年度末対比で896億2千8百万円の増加となりました。これは主に、政策保有株式の売却により現金及び預金が増加したことと、保有株式の時価上昇により投資有価証券が増加したことによるものです。

負債合計は、3,133億7千7百万円となり、前連結会計年度末対比279億7千3百万円の増加となりました。これは主に、退職給付に係る負債が減少したものの、買掛金、未払法人税等と繰延税金負債が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末対比616億5千5百万円増の6,390億1百万円となり、自己資本比率は61.5%となりました。これは主に、配当の支払はあったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等で利益剰余金が増加したことや為替相場の変動に伴い為替換算調整勘定が増加したこと、割引率の上昇に伴い退職給付に係る調整累計額が増加したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べ321億3千9百万円増加し1,362億5千6百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果、得られた資金は、891億5千3百万円（前年同期比93.7%の増加）となりました。これは、非資金取引である減価償却費と税金等調整前当期純利益を計上したことが主たる要因です。

## 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果、使用した資金は、297億2千2百万円（前年同期比15.5%の減少）となりました。これは、保有株式の売却があったものの、有形固定資産を取得したことが主たる要因です。

## 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果、使用した資金は、340億3千8百万円（前年同期比58.8%の増加）となりました。これは、自己株式の取得と配当金の支払が主たる要因です。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりです。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	55.9	57.0	58.6	60.6	61.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	28.3	32.3	23.1	28.7	36.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.3	2.3	1.6	2.0	1.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	26.1	20.2	31.8	17.1	26.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	104,690	136,913
受取手形及び売掛金	141,172	154,313
電子記録債権	19,760	22,552
商品及び製品	49,428	46,983
仕掛品	38,999	38,954
原材料及び貯蔵品	31,169	28,829
その他	16,065	12,616
貸倒引当金	△138	△185
流動資産合計	401,146	440,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	232,740	237,113
減価償却累計額	△137,685	△144,303
建物及び構築物(純額)	95,055	92,810
機械装置及び運搬具	447,823	464,018
減価償却累計額	△340,044	△359,910
機械装置及び運搬具(純額)	107,778	104,108
工具、器具及び備品	111,461	118,766
減価償却累計額	△93,869	△101,554
工具、器具及び備品(純額)	17,591	17,212
土地	19,609	20,319
リース資産	4,292	5,204
減価償却累計額	△2,090	△2,636
リース資産(純額)	2,201	2,567
建設仮勘定	10,401	12,734
有形固定資産合計	252,638	249,753
無形固定資産		
のれん	141	10,512
その他	3,816	4,361
無形固定資産合計	3,958	14,874
投資その他の資産		
投資有価証券	163,316	188,007
従業員に対する長期貸付金	1,729	1,495
繰延税金資産	4,965	6,000
退職給付に係る資産	4,574	13,428
その他	30,548	37,987
貸倒引当金	△128	△145
投資その他の資産合計	205,006	246,774
固定資産合計	461,603	511,401
資産合計	862,750	952,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	52,839	68,548
短期借入金	54,329	56,593
未払法人税等	2,317	13,441
賞与引当金	11,195	11,219
従業員預り金	16,315	16,099
その他	46,322	47,320
流動負債合計	183,319	213,222
固定負債		
長期借入金	17,526	18,871
繰延税金負債	13,075	24,332
退職給付に係る負債	63,046	46,945
役員株式給付引当金	345	398
その他	8,090	9,607
固定負債合計	102,084	100,155
負債合計	285,404	313,377
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	23,590	26,203
利益剰余金	368,823	385,291
自己株式	△4,741	△14,014
株主資本合計	411,008	420,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,186	71,971
為替換算調整勘定	46,440	68,779
退職給付に係る調整累計額	5,790	24,487
その他の包括利益累計額合計	111,417	165,239
非支配株主持分	54,920	52,946
純資産合計	577,346	639,001
負債純資産合計	862,750	952,379



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	709,956	750,502
売上原価	604,383	634,618
売上総利益	105,572	115,884
販売費及び一般管理費	90,193	92,971
営業利益	15,378	22,912
営業外収益		
受取利息	685	1,333
受取配当金	2,799	3,185
為替差益	1,541	6,993
持分法による投資利益	6,144	9,127
受取賃貸料	859	869
その他	3,114	2,717
営業外収益合計	15,145	24,225
営業外費用		
支払利息	2,802	3,299
デリバティブ損失	—	2,591
その他	1,164	960
営業外費用合計	3,966	6,852
経常利益	26,557	40,285
特別利益		
固定資産売却益	1,490	440
投資有価証券売却益	4,001	29,225
その他	—	262
特別利益合計	5,491	29,927
特別損失		
固定資産除売却損	1,818	2,799
減損損失	1,191	10,723
事業構造改善費用	1,152	1,753
その他	146	245
特別損失合計	4,309	15,521
税金等調整前当期純利益	27,739	54,691
法人税、住民税及び事業税	10,229	20,045
法人税等調整額	385	△1,340
法人税等合計	10,615	18,704
当期純利益	17,124	35,987
非支配株主に帰属する当期純利益	3,804	4,384
親会社株主に帰属する当期純利益	13,320	31,602

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	17,124	35,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,520	12,681
為替換算調整勘定	11,749	21,014
退職給付に係る調整額	10,278	17,789
持分法適用会社に対する持分相当額	2,464	5,259
その他の包括利益合計	22,972	56,745
包括利益	40,097	92,732
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	35,054	85,423
非支配株主に係る包括利益	5,042	7,309

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	23,335	23,591	365,880	△230	412,577
当期変動額					
剰余金の配当			△10,377		△10,377
親会社株主に帰属する 当期純利益			13,320		13,320
自己株式の取得				△4,526	△4,526
自己株式の処分				15	15
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△1			△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1	2,942	△4,511	△1,569
当期末残高	23,335	23,590	368,823	△4,741	411,008

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	60,663	34,263	△5,243	89,684	52,092	554,355
当期変動額						
剰余金の配当						△10,377
親会社株主に帰属する 当期純利益						13,320
自己株式の取得						△4,526
自己株式の処分						15
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,477	12,176	11,034	21,733	2,827	24,560
当期変動額合計	△1,477	12,176	11,034	21,733	2,827	22,991
当期末残高	59,186	46,440	5,790	111,417	54,920	577,346

当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	23,335	23,590	368,823	△4,741	411,008
当期変動額					
剰余金の配当			△15,134		△15,134
親会社株主に帰属する 当期純利益			31,602		31,602
自己株式の取得				△10,000	△10,000
自己株式の処分		8		727	736
連結子会社株式の取得 による持分の増減		2,603			2,603
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	2,612	16,467	△9,272	9,807
当期末残高	23,335	26,203	385,291	△14,014	420,815

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	59,186	46,440	5,790	111,417	54,920	577,346
当期変動額						
剰余金の配当						△15,134
親会社株主に帰属する 当期純利益						31,602
自己株式の取得						△10,000
自己株式の処分						736
連結子会社株式の取得 による持分の増減						2,603
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	12,785	22,339	18,696	53,821	△1,973	51,847
当期変動額合計	12,785	22,339	18,696	53,821	△1,973	61,655
当期末残高	71,971	68,779	24,487	165,239	52,946	639,001

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	27,739	54,691
減価償却費	45,758	47,771
減損損失	1,191	10,723
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	△224
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△2,464	△6,837
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△609	—
受取利息及び受取配当金	△3,484	△4,518
支払利息	2,802	3,299
為替差損益(△は益)	1,298	△2,694
持分法による投資損益(△は益)	△6,144	△9,127
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,001	△29,224
有形固定資産除売却損益(△は益)	333	2,366
売上債権の増減額(△は増加)	14,256	△2,825
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,657	11,074
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,096	5,966
その他	2,922	12,131
小計	60,851	92,572
利息及び配当金の受取額	5,398	7,873
利息の支払額	△2,686	△3,368
法人税等の支払額	△17,533	△7,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,030	89,153
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	1,893	93
投資有価証券の取得による支出	△236	△31
投資有価証券の売却による収入	6,278	30,758
有形固定資産の取得による支出	△44,775	△45,742
有形固定資産の売却による収入	2,484	955
無形固定資産の取得による支出	△654	△604
子会社株式の取得による支出	—	△12,459
その他	△150	△2,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,159	△29,722
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△12,768	△1,577
長期借入れによる収入	15,640	9,916
長期借入金の返済による支出	△6,208	△10,046
リース債務の返済による支出	△970	△1,200
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△145
自己株式の純増減額(△は増加)	△4,511	△9,272
配当金の支払額	△10,376	△15,126
非支配株主への配当金の支払額	△2,247	△6,587
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,441	△34,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,426	6,746
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,144	32,139
現金及び現金同等物の期首残高	111,247	104,117
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	14	—
現金及び現金同等物の期末残高	104,117	136,256

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の系列及び市場の類似性を考慮してセグメントを決定しており、各セグメントの統括部門において、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは「シール事業」、「電子部品事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

「シール事業」は、当社が中心となり、主に自動車業界・建設機械業界・一般産業機械業界向けに、シール製品等を生産・販売しております。「電子部品事業」は、日本メクトロン(株)が中心となり、主に電子機器業界向けに電子部品等を生産・販売しております。「その他事業」は、当社、シンジーテック(株)及びNOKクリューバー(株)等が中心となり、ロール製品及び特殊潤滑剤等を生産・販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用した会計処理の原則及び手続と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	347,066	334,523	28,366	709,956	—	709,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,939	44	574	2,558	△2,558	—
計	349,006	334,567	28,940	712,514	△2,558	709,956
セグメント利益又は損失(△)	17,885	△3,712	1,200	15,372	6	15,378
セグメント資産	427,877	262,792	39,812	730,483	132,267	862,750
その他の項目						
減価償却費	24,644	20,079	1,038	45,762	△4	45,758
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	18,746	27,244	1,768	47,759	—	47,759

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額132,267百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産145,895百万円、セグメント間の債権債務の相殺消去△13,628百万円が含まれております。

(3) 減価償却費の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	362,605	359,834	28,062	750,502	—	750,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,397	107	727	2,232	△2,232	—
計	364,003	359,942	28,789	752,734	△2,232	750,502
セグメント利益又は損失(△)	23,314	△1,023	626	22,917	△4	22,912
セグメント資産	453,043	278,482	54,446	785,972	166,406	952,379
その他の項目						
減価償却費	25,083	21,472	1,217	47,773	△2	47,771
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	21,984	20,621	2,620	45,226	—	45,226

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額166,406百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産178,875百万円、セグメント間の債権債務の相殺消去△12,468百万円が含まれております。
  - (3) 減価償却費の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

(単位：百万円)

	シール事業	電子部品事業	その他事業	全社・消去	合計
減損損失	733	458	—	—	1,191

当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位：百万円)

	シール事業	電子部品事業	その他事業	全社・消去	合計
減損損失	4,021	5,966	735	—	10,723

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

(単位：百万円)

	シール事業	電子部品事業	その他事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	286	—	—	286
当期末残高	—	141	—	—	141

当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位：百万円)

	シール事業	電子部品事業	その他事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	143	156	—	300
当期末残高	—	—	10,512	—	10,512

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	3,082.93円	3,561.00円
1株当たり当期純利益	77.55円	188.34円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度1,799千株、当連結会計年度1,716千株)。
3. 役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度1,094千株、当連結会計年度1,754千株)。
4. 従業員持株会信託型ESOPが保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度1,705千株、当連結会計年度1,244千株)。
5. 従業員持株会信託型ESOPが保有する当社株式を、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度110千株、当連結会計年度1,483千株)。
6. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	577,346	639,001
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	54,920	52,946
(うち非支配株主持分)	(54,920)	(52,946)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	522,426	586,055
期末株式数(千株)	169,457	164,576

7. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	13,320	31,602
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	13,320	31,602
期中平均株式数(千株)	171,759	167,792

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。